

**製品名: エンドフィリンIウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10467**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	39kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SH3GL2
別名	SH3GL2; CNSA2; SH3D2A; Endophilin-A1; EEN-B1; Endophilin-1; SH3 domain protein 2A; SH3 domain-containing GRB2-like protein 2
遺伝子 ID	6456.0
SwissProt ID	Q99962
免疫原	エンドフィリンI由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 30-110

**背景**

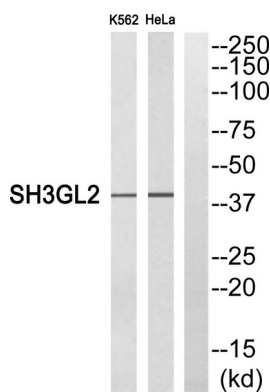
ドメイン:N 末端両親媒性ヘリックス、BAR ドメイン、および BAR ドメインのヘリックス 1 に挿入された 2 つ目の両親媒性ヘリックス

(N-BAR ドメイン) は、膜の湾曲を誘導し、湾曲した膜に結合します。BAR ドメイン二量体は、膜結合面に向かって突出した 2 つ目の両親媒性ヘリックスのペアとともに、剛性の三日月形のヘリックスの束を形成します。機能:シナプス小胞エンドサイトーシスに関与しています。他のタンパク質を高い曲率で膜にリクルートする可能性があります。、その他:SH3GL2 の N-BAR ドメインを発現する HeLa 細胞は、細胞膜の管状化を示します。N-BAR ドメインはリポソームに結合し、リポソームからの管状構造の形成を誘導します。N 末端両親媒性ヘリックスは、リポソームへの結合に必要です。2 番目の両親媒性ヘリックスは、リポソームの管状化を促進します。、類似性:エンドフィリン ファミリーに属します。、類似性:1 つの BAR ドメインを含みます。、類似性:1 つの SH3 ドメインを含みます。、細胞内局在:ニューロンのシナプス前神経終末に集中しています。、サブユニット:単量体; 細胞質内。ホモ二量体; 膜と結合している場合 (類似性による)。SYNJ1 および DNM1 と相互作用します。MAP4K3 と相互作用します。この相互作用は、MAP4K3 を介した JNK 活性化を制御するようです。PDCD6IP と相互作用します。、組織特異性:脳、主に前頭皮質。胎児小脳で高レベルで発現しています。、ドメイン:N 末端両親媒性ヘリックス、BAR ドメイン、および BAR ドメインのヘリックス 1 に挿入された 2 番目の両親媒性ヘリックス (N-BAR ドメイン BAR ドメイン ダイマーは、膜結合面に向かって突出した 2 番目の両親媒性ヘリックス対を持つ、硬い三日月形のヘリックスの束を形成します。、機能:シナプス小胞エンドサイトーシスに関係します。曲率の高い膜に他のタンパク質をリクルートする可能性があります。、その他:SH3GL2 の N-BAR ドメインを発現している HeLa 細胞は、細胞膜の管状化を示します。N-BAR ドメインはリポソームに結合し、リポソームから管状組織の形成を誘導します。N 末端の両親媒性ヘリックスは、リポソームの結合に必要です。2 番目の両親媒性ヘリックスは、リポソームの管状化を促進します。、類似性:エンドフィリン ファミリーに属します。、類似性:1 つの BAR ドメインを含みます。、類似性:1 つの SH3 ドメインを含みます。、細胞内位置:ニューロンのシナプス前神経終末に集中しています。、サブユニット:モノマー; 細胞質内。ホモダイマー; 膜と結合した場合 (類似性による)。SYNJ1 および DNM1 と相互作用する。MAP4K3 と相互作用し、この相互作用は MAP4K3 を介した JNK 活性化を制御すると考えられる。PDCD6IP と相互作用する。、組織特異性: 脳、主に前頭皮質。胎児小脳で高発現。、

## 研究分野

エンドサイトーシス;

## 画像データ



SH3GL2 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンには SH3GL2 ペプチドでブロッキングされている。